

第 75 回クラシックを楽しむ会

2023 年 5 月 28 日(日)18:00～(2 時間 30 分)

タイトル : 歌劇「アイダ」(ヴェルディ)

会場等 : ドレスデン国立歌劇場(ドイツ)
(2022 年 3 月 9、13 日)

楽団等 : ドレスデン国立管弦楽団

合唱 : ドレスデン交響合唱団
ドレスデン国立歌劇場合唱団

指揮 : クリスティアン・ティーレマン

演出 : カタリーナ・タルバッハ

出演 : アイダ:クラッシミラ・ストヤノヴァ

ラダメス:フランチェスコ・メーリ

アムネリス:オクサナ・ヴォルコヴァ

アモナズロ:クイン・ケルシー

ランフィス:ゲオルク・ツェッペンフェルト

エジプト王:アンドレアス・バウアー・カナバス

ほか



第 2 幕第 1 場 宮殿内のアムネリスの部屋、

あらすじ

古代エジプト王国の若き武将ラダメスとエジプトの奴隷で実はエチオピア王女アイダは相思相愛の仲、そしてエジプト王女アムネリスはラダメスに思いを寄せ二人に嫉妬する。

ラダメスがアイダの父王率いるエチオピア軍を迎え撃ちにいき、アイダはラダメスへの愛と祖国への愛の相克に悩む。二人は神殿の地下牢に生き埋めにされて永遠の愛を貫き、アムネリスは地下牢の上の神殿でラダメスの冥福を祈り続ける。

見せ場と名曲

第 1 幕の名曲はラダメスの「天使のように清らかなアイダ」とアイダの苦渋に満ちた「勝ってお帰りなさい!」。第 2 幕第 2 場の「凱旋の場」は最大の見せ場。勇壮な「凱進行進曲」と合唱「エジプトに栄光を」とは対照的に、その内容は静かで美しく繊細な感情描写にあふれている。第 3 幕以降の二重唱、合唱など劇的な緊迫感も素晴らしい。

ドレスデン国立歌劇場

「ゼンパー・オーパー」の愛称で知られるドレスデンの「ザクセン州立歌劇場」。東ドイツ時代は国立の歌劇場で「ドレスデン国立歌劇場」と呼ばれた。

第 76 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル: 歌劇「カルメン」(ビゼー)

6 月 25 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

ヴェローナ野外劇場 2022。カルメン: エリーナ・ガランチャ、ドン・ホセ: ブライアン・ジェイド、ヴェローナ野外劇場管弦楽団、指揮: マルコ・アルミアート。

あらすじ

【時と場所】 古代エジプト

ナイル川下流の王都メンフィスと上流のテーベが舞台

※メンフィスはカイロ近郊の古王朝時代の王都、テーベ（ルクソール）はナイル川上流 700km の中王国、新王国時代の王都

【主要人物】

アイーダ (S) : エチオピア王女でエジプトの奴隷。アムネリスの侍女。ラダメスと恋仲

ラダメス (T) : エジプトの若い将軍。奴隷のアイーダと恋仲

アムネリス (Ms) : エジプトの王女。ラダメスを愛し恋敵アイーダに嫉妬

アモナズロ (Br) : エチオピア王。娘のアイーダにラダメスから軍事機密を盗ませる

エジプト王 (Bs) : ファラオ。アムネリスの父

ランフィス(Bs) : エジプトの司祭長。絶大な権力を持ち、神の宣託を王に伝える

【第 1 幕】 エチオピアのエジプト侵攻

第 1 場 メンフィスの宮殿

エジプト王女アムネリスの侍女アイーダは奴隷にされたエチオピア王女で、エジプトの若い将軍ラダメスと相思相愛の仲。アイーダの父王アモナズロ率いるエチオピア軍がエジプト南部テーベに侵入したとの知らせを受け、ラダメスは勝利の暁にアイーダとの結婚を願って「清きアイーダ」を歌い、アムネリスは思いを寄せる二人に嫉妬。アイーダは父アモナズロの勝利と恋人ラダメスの勝利を願う矛盾に苦悩して「勝ちて帰れ」を歌い神に慈悲を祈る。

第 2 場 火の神の神殿

神殿では勝利を祈願する儀式が行われ、司祭長ランフィスがラダメスに神剣を授けて武運を祈る。

【第 2 幕】 アムネリスの嫉妬とラダメスの凱旋

第 1 場 宮殿内のアムネリスの部屋

アムネリスは凱旋祝賀会にでるため着飾っている。祖国の敗戦を悲しみ父の安否を心配するアイーダが現れる。アムネリスはアイーダを慰めるが、ラダメスは戦死したと嘘をつく。アムネリスはラダメスを心配するアイーダが恋敵であることを確信する。

第 2 場 テーベの凱旋門に通じる大通り

戦いはエジプトが勝利し、凱旋したラダメスは捕虜の解放を願う。王は願いを聞き入れ、娘のアムネリスの婿として自分の後を継ぐよう命じる。アムネリスは喜び、ラダメスは困惑し、アイーダは悲しみに暮れる。

【第 3 幕】 アモナズロの策略とラダメスの後悔

舞台はテーベ。ナイル河畔のイシス神殿前、月夜

捕虜の中にアモナズロが身分を隠している。アモナズロはアイーダに、ラダメスからエジプト軍の機密を聞き出すよう強要する。

アイーダはラダメスと密会し、国を捨てて二人で一緒に暮らそうと誘う。ラダメスもエジプト軍が配備されていない「ナパタの谷」に行けば誰にも会わずに逃げられると伝える。この話をこっそり聞いていたアモナズロが、自分がエチオピア王であることを明かし、その「ナパタの谷」からエジプトを攻めようと言う。ラダメスは焦る。アムネリスが現れたため、ラダメスはアイーダとその父の逃亡を手助けする。

【第 4 幕】永遠の愛

第 1 場 メンフィス王宮

軍事機密漏えいの罪でラダメスは死罪となる。彼を救いたいアムネリスは、アイーダへの想いを捨てればラダメスの命を助けようと言うが、ラダメスは拒否し死を覚悟する。

第 2 場 神殿と地下牢

ラダメスは地下牢に生き埋めにされる。その暗闇の牢のなかにアイーダの姿。彼女は牢が閉じられる前に忍び込んでいたのだ。二人は抱き合い「さようなら大地よ、涙の谷よ」と歌いながら静かに死んでいく。そして上の神殿ではアムネリスが司祭、巫女たちとラダメスの冥福を祈る。

出演



クラッシミラ・スタノヴァ(ソプラノ)

1962年ブルガリア出身のソプラノ歌手。1995年ソフィア国立歌劇場でデビュー。2009年にはオーストリアの宮廷歌手の称号を授与された。現在も世界の主要歌劇場で活躍中。

ザルツブルク音楽祭 2014 歌劇「ばらの騎士」侯爵夫人。



フランチェスコ・メーリ(テノール)

1980年イタリアのジェノヴァ生まれ。23歳でスカラ座デビュー。ザルツブルグで「イル・トロバトーレ」ではネトレプコと共演。

インタビューで、「ヴェルディのスコアに忠実に歌うのだ。ラダメスの歌にはpppやppppがありしかもdolce(甘く),dolcissimo(極めて甘く、柔和に)と書かれている。『清きアイダ』はラダメスの夢だからパワフルには歌わない」。



オクサナ・ヴォルコヴァ(メゾソプラノ)

ベラルーシ※の首都ミンスク出身の女性オペラ歌手。メトロポリタンオペラにデビュー後、世界の主要歌劇場で「カルメン」を演じるなど活躍中。

※ウクライナと国境を接し現在「欧州最後の独裁国家」とされる。



クリスティアン・ティーレマン(指揮)

1959年年旧西ドイツ・西ベルリン出身の指揮者。ベルリン・ドイツ・オペラおよびミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督を歴任。シュターツカペレ・ドレスデンの首席指揮者。その他、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団などへ定期的に客演。バイロイト音楽祭やウィーン国立歌劇場で活躍するなど、コンサートとオペラ両面で世界的に高い評価を得ている。



カタリーナ・タルバッハ(演出)

1954年旧東ドイツ・東ベルリン生まれの女優・舞台監督・オペラ監督。映画「ブリキの太鼓」に出演した。

ゼンパー・オーパー

「ゼンパー・オーパー」は、ドイツ・ザクセン州の州都ドレスデンにある「ザクセン州立歌劇場」の愛称。東ドイツ時代は国立の歌劇場で「ドレスデン国立歌劇場」と呼ばれた。

前身は、中世ドイツ諸邦の中でも強勢を誇ったザクセン王国の宮廷歌劇場として 17 世紀半ばに最初のザクセン宮廷歌劇場ができたが 19 世紀半ばに焼失し、建築家ゴットフリート・ゼンパーが設計・再建した。再建された当初、リヒャルト・ワーグナーが指揮者を務め、自身のオペラ「リエンツィ」「さまよえるオランダ人」「タンホイザー」を初演した。20 世紀に入って「サロメ」「ばらの騎士」などリヒャルト・シュトラウスの大部分のオペラもこの歌劇場で初演された。有名オペラを多く初演した歌劇場としてミラノ・スカラ座、ヴェネチア・フェニーチェ劇場などと並ぶ名門歌劇場である。

1945 年のドレスデン空襲で破壊されたが、旧東ドイツ政府が復興に注力し建物面でもミュンヘン、ウィーン、パリなどに比肩する豪華さを誇っている。当時の「デジタル時計」も復元されている。



ゼンパー・オーパー

シュターツカペレ・ドレスデン

シュターツカペレ・ドレスデンは、ザクセン州立歌劇場(ゼンパー・オーパー)の専属オーケストラである。デンマーク王立管弦楽団に次ぎ現存する世界最古のオーケストラとされる。「ザクセン国立歌劇場管弦楽団」、「ドレスデン国立管弦楽団」、「ドレスデン国立歌劇場管弦楽団」と呼ばれることもある。

歴代の首席指揮者は、作曲家のヴェーバーなど音楽史に名を残すそうそうたる顔ぶれである。

ドレスデン

アウグストゥス橋

聖母教会

裁判所

カトリック旧宮廷教会

ゼンパー・オーパー



エルベ川岸辺からドレスデン旧市街を望む

「エルベ川の真珠」ことドレスデンで行ってみたい観光スポット 24 選！(skyticket)によると、その上位は 1.ゼンパー・オーパー 2.ドレスデン城 3.アルトマルクト広場 4.カトリック旧宮廷教会 5.聖十字架教会 6.聖母教会 7.ツヴィンガー宮殿。ベルリン・ドレスデン間は列車ユーロシティ(ハンガリー・ブダペスト行き)で約 2 時間。

古都ドレスデンは 1945 年 2 月のドレスデン空襲で完全に破壊された。英米空軍は協力して無防備の古都を空襲した。まず大量の榴弾で屋根を吹き飛ばして建物内部の木材をむき出しにし、その後に焼夷弾を落として建物を発火させ、さらに榴弾を落として消火および救助活動者を殺戮した。なお、米軍はこの翌月 3 月 10 日に東京を無差別爆撃して焼き尽くし、約 10 万人を殺した。

ゼンパー・オーパーも聖母教会(フラウエン教会)もがれきの山となった。聖母教会の再建が始まった東西両ドイツ再統一までの 50 年余り、がれきの山はそのまま放置された。再建が完成したのは 2005 年である。なお、聖母教会が最初に建築された 18 世紀半ば、高名な制作者によるオルガンが奉納れ、J.S.バッハがオルガン演奏会を開いた。